

◆博物館臨時休館のお知らせ！



◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、9月30日(休)まで休館となります。夏の企画展「宮越家文書&美術工芸品」や放課後子ども教室、ほかの各種イベントについても中止となりましたのでご注意ください。

◆小泊中2年体験学習！

毎年恒例の「ふれあい体験学習(水産商工観光課主管)」が開催されました。小泊中2年生10名が、漁船乗船体験後、町博物館下前分館へ移動。仕事着「さぐり」を着て記念撮影や小泊地区で使われていた漁具や船大工道具を体験して、

漁業の歴史などを学びました。



◆柴崎城跡解説板設置！

「小泊の歴史を語る会(柳澤良知会長)」と町の協力により、安藤氏最後の砦「柴崎城跡」の



解説板と柳澤良知会長

解説板が設置されました。嘉吉2年(一四四二)秋南部氏に拠点十三湊を攻められた安藤氏は、小泊の柴館に撤退、さらに翌冬には北海道へ落ち延びたとしています。この「柴館」が柴崎城と考えられています。

◆町文化財審議会開催！

今年度1回目となる文化財審議会が開催され、中村盛江(中里)・佐井川英秀(富野)・加藤俊輔(中里)・柳澤良知(小泊)・熊木敏彦(小泊)各氏に委嘱状が交付されました。



前列左から佐井川・加藤・中村委員、後列左から柳澤・熊木委員、米塚教育長

その後委員互選による会長・職務代理の選出が行われ、それぞれ加藤・佐井川氏に決定しました。任期は令和5年3月までの2年間となります。

119 消防&救急

9月9日は「救急の日」

目的：救急医療や救急業務に対する住民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識の高揚を図ることにより、救急医療体制を一層充実させることを目的としています。

期間：「救急の日」を含む9月5日(日)から9月11日(土)までが「救急医療週間」となっています。

救急車の適正利用を考えてみよう！

近年、救急出場件数は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、全国的に増加傾向にあります。また、救急医療現場もひつ迫した状況にあります。その中で緊急性の低い救急車の利用も増加していますので、今一度救急車の適正利用を考えてみましょう。

その症状本当に緊急ですか？

「指先を切った」「靴擦れが痛い」「日焼けで体が痛い」「救急車で病院へ行けば優先的に診察してもらえない」「タクシーで行くお金がない」などの

理由での救急車の利用はさげましょう。

救急車の台数には限りがあります。本当に救急車を必要としている人のためにも皆様のご理解とご協力をお願いします。



住宅用火災警報器設置率100%の町「なごまり」を目指して！

住宅火災による死傷者が全国で多発している状況です。死傷者のうち6割が「逃げ遅れ」によるもので、特に就寝時に多く発生しています。その対策として、住宅用火災警報器設置が義務化され、10年以上経ちましたが、町の設置率はいまだに低い状況です。

住宅火災による逃げ遅れをなくすためにも住宅用火災警報器を設置しましょう。また設置されているご家庭は定期的に点検をしましょう。



個別健(検)診のお知らせ

特定健診や健康診査、女性健診は町内外の町が契約している医療機関で受診することができます。

健康づくりは、まずは自分の体を知ること。ぜひ受診し、健康を確認しましょう。

■対象者

・特定健診・健康診査：40歳以上の町国民健康保険、県後期高齢者医療加入者

・女性検診

子宮頸がん検診：20歳以上の偶数年齢または前年度未受診者

乳がん検診：40歳以上の偶数年齢または前年度未受診者
※年齢は、令和4年3月31日時点での満年齢です。

■健(検)診の内容

・特定健診・健康診査

身体計測、血圧測定、尿検査、心電図検査、血液検査など

・女性検診

子宮頸がん検診：問診、細胞診検査

乳がん検診：問診、マンモグラフィ検査

■検査料金

対象者の受診は全員無料です。

■委託医療機関

「令和3年度健診お知らせ帳」をご確認ください。

■受診方法

町民課健康推進係にお申込みください。受診券を送付しますので、各自、医療機関に予約し受診してください。

■実施期間

令和4年2月末まで
※受診を希望する人は、早めに申込みをお願いします。

定期予防接種の受け忘れはありませんか？

予防接種は、病気ごとに接種に適した時期があります。特に接種期間が短いもの、限定されているものは注意が必要です。母子手帳を確認し、期間が過ぎる前に接種を受けましょう。

麻疹風しん 第2期

対象者：5歳以上7歳未満の人
(小学校就学前の年長児)

日本脳炎 第2期

対象者：9歳以上13歳未満の人
ジフテリア・破傷風(二種混合)

対象者：11歳以上13歳未満の人
※対象者には4月に通知しています。予診票を紛失した人は健康推進係までお問合せください。

高齢者肺炎球菌予防接種

日本人の死因第5位の肺炎。

その肺炎で亡くなる人の約95%が65歳以上です。そして最も多いのが肺炎球菌によるものです。肺炎予防のため、高齢者肺炎球菌ワクチンの接種が定期接種となっています。このワクチンによる肺炎などの感染症を予防し、重症化を防ぐことができます。町では対象者に助成を実施していますので、ワクチン接種をしましょう。

【対象者】

今まで、高齢者肺炎球菌予防接種を受けたことがない、次の

- ① または②に該当する人
- ① 65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の人
- ② 60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能やヒト免疫不全ウイルスで免疫機能に障害がある人(障害者手帳内 部疾患1級の人)

*年齢は、令和4年3月31日時点での満年齢です。

【助成など】

接種料金のうち、町が3,000円を助成します。(残額は自己負担)

※対象者には4月に通知しています。予診票などを紛失した

人は、お問合せください。

「いのち」を大切に！

厚生労働省と警察庁の発表によると、女性の自殺者が増加傾向にあり、自殺者の中で急増しているのが同居ありの女性だということです。新型コロナウイルスの脅威が収まることなく、行動が制限される日々が続く中、外出を控え、家で過ごす時間が増えたことで家事などの負担が増加したことや、ストレスを発散する場が減ってしまったことで精神的に追い詰められることが原因の一つと考えられます。

WHO(世界保健機関)では、世界的な自殺予防対策の啓発を目的として、毎年9月10日を「世界自殺予防デー」、また日本では9月10〜16日を「自殺予防週間」と定めています。自殺は誰もが出会う可能性のある問題です。自殺を身近な問題として考えてみるのが、大切な命を守る第一歩となります。

“遠慮せずに相談を”

一人で解決が難しい問題や悩みごとは、誰かに相談し助けを求めましょう。助けを求めることは、恥ずかしいことや迷惑をかけることはありません。町では、こころの健康相談(傾聴サロン併設)を行っています。

事前の申込みがなくても、どなたでもおいでいただけます。遠慮せずに相談してみませんか？
日程：9月29日(水)、10月27日(水)、11月24日(水)、12月22日(水)
時間：午後1時〜3時
場所：パルナス・リハーサル室

新型コロナウイルスワクチン接種の予約について

町内各医療機関・集団接種会場におけるワクチン接種は10月末で終了になる予定です。ワクチン接種を希望する人でまだ予約をしていない人は、お早めにコールセンターへ予約の電話をお願いします。

新型コロナウイルス接種のキャンセルについて

ワクチン接種を予約済みの人で、予約日に都合がつかない・体調不良で接種できないなどの場合は、コールセンターへ3日前までにキャンセルの連絡をお願いします。

- ☎コールセンター
- ① 57-9033
 - ② 57-9055
 - ③ 26-5333

新型コロナウイルスにかからないために みんなで気を付けましょう

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



NAKADOMARI PUBLIC RELATIONS SEP. 2021.

館山 耕一 73 (深郷田下)

三上 美喜枝 64 (芦野)



須藤 美和子 (黒石市)

磯野 竜太郎 (浜町)

野上 遥奈 (宮野沢)

赤平 一成 (平川市)

今 亜利沙 (派立上)

矢部 隆一 (東京都)

葛西 智美 (上高根)

伊藤 宙 (岩手県)



杉山 優良 (女・鷹也) 下豊岡

津田 蓮司 (男・隼也) 派立上

山田 翔斗 (男・大介) 薄市下



(7月届出分)

戸籍の窓口

瓜田 義光 95 (新町1)	岩田 登志代 70 (派立下)	大川 武実 67 (富野)	成田 キミエ 91 (向町下)	北畠 友昭 58 (薄市上)	木村 カツエ 83 (深郷田下)	佐藤 善逸 90 (芦野)	佐藤 一二三 71 (芦野)	石川 静枝 85 (下豊岡)	竹谷 明美 57 (福浦)	藤井 和加子 53 (深郷田下)	古川 史統 65 (向町下)
----------------	-----------------	---------------	-----------------	----------------	------------------	---------------	----------------	----------------	---------------	------------------	----------------

人のうごき

7月末現在(前月比)

人口	10,401人(-15)
中里地域	7,696人/小泊地域2,705人
男	4,885人(-8)
女	5,516人(-7)
世帯数	5,051(-4)
出生	3 / 死亡 14
転入	9 / 転出 13